学校番号	1205

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学)鍵盤楽器入門	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

●鍵盤楽器の実技を基礎から学び、個々の能力に合わせて楽曲演習を行います。平行して楽典、ソルフェージュの学習を行い、音楽理論の基礎を身につけます。映像鑑賞を行い知識を高めます。
●授業内で発表会を行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
演奏技術の基礎及び創意工夫の表現に必要な技能を身に付け、鍵盤楽器で表すことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
鍵盤楽器の特性を感受しながら知覚したことと甘受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図を持つことができる。
【学びに向かう力、人間性等】
自身の進路と関連づけたり、様々な分野での自己表現力を伸ばしたいという意図を持ったりすることで、主体的・協働的に鍵盤楽器の学習活動に取り組むことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と鍵盤楽器の音色や奏法との関わり、様々な表現形態による特徴について理解している。（知識） 創意工夫を生かして表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識し、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、鍵盤楽器で表している。（技能）	鍵盤楽器の音色、選択した楽曲のリズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、厚生を知覚し、それらの働き感受しながら、知覚したことと甘受したことの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	自身のレベルに適した鍵盤楽器の奏法を身に付けることや、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に鍵盤楽器の学習活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション・楽典 レベル別個別課題設定 中間実技試験	【鍵盤楽器の基本①】 ○指番号・フォーム・座り方・「ドレミファソ」の練習・指の練習 ○習熟度による課題曲・自由曲の設定、練習 【中間実技試験】 ○選択した課題曲・自由曲の個別チェック	a:【知】鍵盤楽器の基本について理解を深めている。 【技】奏法を理解して楽曲を演奏している。 b:技能向上に向けて演習を継続して行っている。 c:主体的・協働的に鍵盤楽器の学習に取り組もうとしている。	実技発表	観察 ワーク シート	観察 ワーク シート
	個別課題 楽典 期末実技試験	【鍵盤楽器の基本①】 ○音部記号・拍子記号・音符・休符・コード(C,G) ○習熟度による課題曲・自由曲の設定、練習 【期末実技試験】 ○選択した課題曲・自由曲の個別チェック				
2学期	個別課題 楽典・映像鑑賞 中間実技試験	【鍵盤楽器の基本②】 ○指くぐり・指またぎ・調号 ○習熟度による音階練習(短調を含まない)・課題曲・自由曲の設定、練習 【中間実技試験】 ○選択した課題曲・自由曲の個別チェック	a.【知①】鍵盤楽器の基本について理解を深めている。 【知②】コードの構成音や仕組みについて理解を深めている。 【技】奏法を理解し曲想を工夫して演奏している。 b:技能向上に向けて演習を継続して行っている。 c:主体的・協働的に鍵盤楽器の学習に取り組もうとしている。	実技発表	観察 ワーク シート	観察 ワーク シート

	個別課題 楽典・筆記試験 期末実技試験(発表会)	【鍵盤楽器の基本②】 ○重音・コードのアレンジ(C,G) ○習熟度による音階練習(短調を含まない)・課題曲・自由曲の設定、練習 【期末実技試験】 ○選択した課題曲・自由曲の発表(発表会形式で評価)	a.【知①】鍵盤楽器の基本について理解を深めている。 【知②】コードの構成音や仕組みについて理解を深めている。 【技】奏法を理解し曲想を工夫して演奏している。 b:技能向上に向けて演習を継続して行っている。 c:主体的・協働的に鍵盤楽器の学習に取り組もうとしている。	実技発表	観察 ワーク シート	観察 ワーク シート
3学期	個別課題 期末実技試験(発表会)	【鍵盤楽器の基本③】 ○習熟度による・課題曲・自由曲の設定、練習 ○連弾曲の練習 ○グループで歌う 【期末実技試験】 ○連弾曲の発表(個別チェックまたは発表会形式) ○身振りを付けて歌う(個別チェックまたは発表会形式)	a.【知】鍵盤楽器の基本について理解を深めている。 【技】奏法を理解し曲想を工夫して演奏している。 【技】連弾の特性を知りペアを組んで演奏をしている。 b:技能向上に向けて演習を継続して行っている。 c:主体的・協働的に鍵盤楽器の学習に取り組もうとしている。	実技発表	観察 ワーク シート	観察 ワーク シート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度